

# 月刊食糧ジャーナル

40～49

**特集** 《連載第271回》

**コシヒカリを超えるコメ**  
『金のいぶき』の評価を高めた高機能玄米協会  
玄米食の有効性発信に注力へ

50～53

**シリーズ／新体制整える卸各社の新戦略**

- ①ヤマタネ／第9回萌えみのり栽培コンテスト  
「チーム萌えみのり」の連携をアフターコロナにどう生かすか
- ②ミツハシ／コロナ禍でも増収増益。スモールマーケットを積み重ねる

54～55

**山形米／山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部会議**  
好調『つや姫』は4年産も微増、『雪若丸』は4年産2万3600ト

76～79

**サタケニュース／**

- ①光選別機「SLASH」のラインナップ拡充。単体で選別処理
- ②令和3年の今後の天候に応じた上手な乾燥・調製作業
- ③食協が新精米工場建設に着工。「MILSTA」を導入

38～39

**■今月の視点**／令和3年産集荷価格、主産地で軒並み下落  
新潟産一般地区コシヒカリ1万2200円

## カ ラ ー 特 集

16～17

**ヤマタネ** 「第9回萌えみのり栽培コンテスト」受賞者発表

18～21

**秋田米** 平年に比べ生育ペース早い令和3年産秋田米

20～25

**福島米** 『福、笑い』今秋、本格デビュー。希少価値を訴求  
『#青春GAP米』東京五輪の日本選手団に贈呈

26～29

**青森米** 『まっしぐら』販売促進に約1億円。コロナ禍に対応  
『ミス・クリーンライスあおもり2021』決定

30～31

**千葉米** 新米初検査『ふさおとめ』全量1等米(JA木更津市)

## 《令和3年産早期米特集》

- 56～57 **高知** 『よさ恋美人』販売スタート  
品種としての良食味評価定着。売上好調でコシヒカリ以上の声も

### ワイド構成／産米特集

- 58～59 **佐賀** 早期ブランド米『セタコシヒカリ』  
品種・食味・収量ともに良好。米穀店は5\*<sub>100</sub>3000円水準で販売
- 60～61 **岩手** 令和3年産いわて純情米の生育状況  
出穂盛期は県全体で7月31日。過去40年で最も早い出穂記録
- 62～65 **宮城** ニーズの高い『金のいぶき』、作付け拡大へ栽培指導徹底  
みやぎ米ブランド化への戦略品種栽培研修会
- 66～71 **北海道** 持続的な生産(SDGs)に繋がる品種  
直播栽培に適した良食味の『えみまる』  
「道民笑いの日」に大アピール、生配信も(タカアンドトシ)
- 72～73 **茨城** あきたこまち生育は平年より2日早くコシヒカリ成熟期は9月上旬  
令和3年産の新米初検査は8月20日予定(JA稲敷)

### 74～75 **先進的JAの取り組み／JA北河内(大阪)**

全支店にペットボトル無洗米自販機を設置  
3密避けた非対面販売方法で地元産米PR



※月刊「食糧ジャーナル」のご送付に使用いたしましたご購入者の皆様の個人情報は、ご送付以外の目的では使用いたしません。  
今月の表紙／ヒマワリ

